

案件概要表

I. 提案事業の概要	
1. 対象国名	ラオス人民民主共和国
2. 案件名	顧みられない熱帯病（NTDs）の1つ寄生虫感染症のコントロール対策に関する保健教育支援
3. 事業の背景と必要性	<p>事業対象地域はメコン川中流の中州にあり、地域住民のタイ肝吸虫症と水を媒介するメコン住血吸虫症の罹患率が高い。</p> <p>タイ肝吸虫症は、淡水魚の生食によって罹患し、胆管癌の要因にもなっている。メコン住血吸虫症は、水田での作業や洗濯、児童の水遊びなど水源との直接的接触により感染するもので、子どもの発育阻害、成人の労働力損失などに繋がっている。</p> <p>現地ではこれまでにラオス保健省、チャンパサック県保健所、国立国際医療研究センター研究所などが共同で SATREPS の支援を受けた疾患制御に関する取り組みを行っているが、感染状況の劇的な変化は起きていない。本事業は、多くの住民が寄生虫起因の疾病（タイ肝吸虫症、メコン住血吸虫症）に対する認識を深め健康改善に資するために必要であり、SATREPS の取り組みを補完する事業として位置づけることができる。</p>
4. プロジェクト目標	住民のタイ肝吸虫症・メコン住血吸虫症に対する認識が深まり、予防行動を行うようになる。
5. 対象地域	チャンパサック (Champasak) 県コーン郡 コーン村及びタマケップ村
6. 受益者層 (ターゲットグループ)	<p>1) 直接受益者：カウンターパート（チャンパサック県保健局）</p> <p>2) 間接受益者：プロジェクトサイト村落の住民</p>
7. 生み出すべきアウトプット及び活動	<p>①推進者・リーダー（CP、教師、住民代表）の育成 タイ肝吸虫症とメコン住血吸虫症の予防に関する住民教育が出来る CP のスタッフが育成され、育成した CP により住民リーダーが育成される。</p> <p>②健康被害者（住民）への知の集積 タイ肝吸虫症とメコン住血吸虫症に関する予防や治療の必要性に関する知識が住民に認知される。</p> <p>③目標に向かうための行動の具体化（住民の予防行動） 習得した予防知識に基づき各住民のタイ肝吸虫症とメコン住血吸虫症の感染対策が習慣化され、治療の重要性も認知される。</p>
8. 実施期間	2023年5月12日 ～ 2024年3月27日
9. 事業費概算額	10,246,500円
10. 現地カウンターパート	チャンパサック県保健局
II. 実施団体の概要	
1. 提案地方公共団体名／団体名	国立大学法人 高知大学
2. 活動内容	「地域社会及び国際社会に貢献しうる人材育成を行い、学問と研究の充実と発展を推進する」ことを理念とする。アジア・大洋州の開発途上国とのつながりを重視し、高知県における地域資源の特徴を活かした国際協力を推進するとともに、実践的で国際的な教育研修による国際貢献を図っている。